



2025 年 7 月 15 日

各 位

会社名 株式会社トリプルアイズ
代表者名 代表取締役 山田 雄一郎
(コード番号：5026 東証グロース)
問合わせ先 執行役員 近藤 一寛
(TEL. 03-3526-2201)

特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩し並びに連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025 年 8 月期第 3 四半期連結会計期間（2025 年 3 月 1 日～2025 年 5 月 31 日）において、下記のとおり特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩し並びに業績予想の修正を行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、本日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社ゼロフィールドが事業運営を行う、暗号資産のマイニングマシンの販売に関する事業において、一部商品の販売を終了することを決定いたしました。これにより、2025 年 8 月期第 3 四半期連結会計期間（2025 年 3 月 1 日～2025 年 5 月 31 日）において、棚卸資産評価損 278 百万円を特別損失に計上いたしました。

2025 年 4 月に施行された令和 7 年度税制改正により、主に節税ニーズをターゲットとしていた、GPU を用いた暗号資産のマイニングマシンに対して、顧客からの引き合いが減少したことから、販売を終了することを決定いたしました。本決定に伴い、該当する棚卸資産について、回収可能額まで棚卸資産評価損を計上しております。

今後、株式会社ゼロフィールドは、顧客からの需要のある、データセンター向けの AI 開発用途 GPU マシン及び ASIC*を用いた暗号資産のマイニングマシンの販売に注力いたします。なお、GPU を用いたマイニングマシンについては、AI 開発用途 GPU マシンへの転用を想定しておりますが、現時点で決定した事実はありません。

こちらは、本日公表の「2025 年 8 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

※ASIC：Application Specific Integrated Circuit の略であり、特定用途のために設計された半導体集積回路を指します。

2. 繰延税金資産の取崩しについて

当社グループは、グループ通算制度を導入しております。当社は、繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、2025 年 8 月期第 3 四半期連結会計期間（2025 年 3 月 1 日～2025 年 5 月 31 日）において繰延税金資産を取崩しいたしました。これは主に、『3. 連結業績予想の修正について』に記載の通り、直近の業績動向を踏まえた当期の連結業績予想の修正に合わせて、通算グループにおける将来の課税所

得の見直しを行ったことによるものです。この結果、同期間の法人税等調整額は 49 百万円、2025 年 8 月期第 3 四半期連結累計期間（2024 年 9 月 1 日～2025 年 5 月 31 日）の法人税等調整額は 69 百万円となりました。

こちらは、本日公表の「2025 年 8 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

3. 連結業績予想の修正について

（1）2025 年 8 月期通期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2024 年 10 月 15 日発表）	百万円 5,992	百万円 111	百万円 98	百万円 30	円 銭 3.71
今回修正予想（B）	5,650	△ 83	3	△ 375	△45.05
増減額（B－A）	△341	△195	△95	△406	
増減率（％）	△5.7	－	－	－	
（ご参考） 前期実績（2024 年 8 月期）	4,410	38	47	76	10.35

（2）業績予想修正の理由

直近の業績動向を踏まえ修正を行っております。

AI ソリューションセグメントにおいては、当社の連結子会社である株式会社 BEX が事業運営を行うエンジニアリングサブセグメントにおいて、人員数の減少が当初の想定を上回りましたが、単価の増加でカバーできなかったこと、当社が事業運営を行う AI インテグレーションサブセグメントにおいて、需要は堅調ではあるものの、人員数の確保のために臨時昇給を行い人件費が増加したこと等を踏まえ、売上高及び営業利益の下方修正を行っております。

GPU サーバーセグメントにおいては、『1. 特別損失の計上について』に記載の通り、令和 7 年度税制改正に伴い一部のマイニングマシンに対する顧客からの引き合いが減少していること、今後注力していくデータセンター向けの AI 開発用途 GPU マシンの新商品の開発に向けた研究開発費用が増加していること等を受け、売上高及び営業利益の下方修正を行っております。

経常利益については、2025 年 8 月期第 2 四半期連結会計期間に計上を行った保険解約返戻金及び直近の暗号資産の市場の相場をベースとした暗号資産の評価に関する営業外損益の見込をそれぞれ反映しております。

親会社株主に帰属する当期純利益については、『1. 特別損失の計上について』『2. 繰延税金資産の取崩しについて』に記載の通り、特別損失の計上及び当期の業績予想の修正に合わせて将来の課税所得の見直しを行ったことによる、法人税等調整額の計上の影響を反映しております。

なお、上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報や予測等に基づくものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上